

地区財団情報・増進委員会

委員長 北村 讓

(大阪中之島RC)

日時:2007年10月27日(土) 13:00~16:10

場所:大阪国際交流センター 2階 大会議室さくら

出席者:宮田PG、横山GE、大谷GNIはじめ各組G補佐、各組G補佐エレクト、
地区代表幹事、地区幹事、地区ロータリー財団委員長、
地区財団各委員長並びに副委員長、地区財団情報・増進委員会委員、
各クラブロータリー財団委員長

新谷Gが、他地区の地区大会出席の為、宮田PGの点鐘により13:30開会致しました。その後、出席地区役員紹介と資料の確認を地区財団情報・増進委員長の北村が行いました。

まず初めに、宮田PGよりロータリー財団発足の経緯をお話頂き、本日の会議を通じて11月のロータリー財団月間で、各クラブにおいて「ロータリー財団の理解をより深めて頂き、財団へ支援をお願いしたい」旨の挨拶がありました。

佐藤ロータリー財団委員長より趣旨説明として、テーブルミーティングのテーマの説明がされ、ロータリー財団月間で財団に対する情報を多くの会員に提供して頂き、出来るだけ全会員に寄付をして貰える様に、活動をお願いしたいと挨拶がありました。

次に、財団情報・増進委員長の北村がロータリーカードの5,000枚突破のお礼と、1万枚目指して頂きたい事、大口寄付者とポール・ハリス・ソサエティの有会員資格になって頂きたいとお願いを致しました。

横井財団法人道的補助金委員長から、各クラ

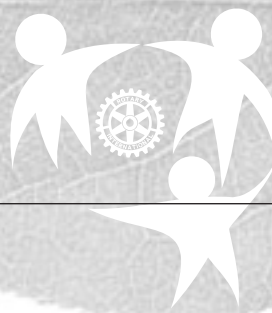
ブに人道的補助金を積極的に利用して頂きたい旨の依頼があり、その申請方法と報告の仕方が、具体的に説明され、分からない時は、いつでも聞いてください、と話されました。

田中研究グループ交換委員長からは、今年GSEでトルコに行かれた話しを簡単にされ、2009年3月から4月に1770地区のフランスへ派遣されるGSEメンバー募集の案内と参加者推薦の依頼の説明がありました。

テーブルミーティングを始める前の最後として、簡 財団奨学金・学友委員長から、韓国、台湾、オーストリア、ロシアからの4人の文化研修生の紹介があり、その後、それぞれが、2~3分の挨拶をしました。10月来日したばかりなのに、日本語が上手なのは、参加者の皆さんは、驚かれた事と思います。

14:40~15:35までIM1組から8組まで8テーブルに分かれ、テーマ「あなたのクラブの財団月間における活動計画について」を討議致しました。そして、テーブルミーティング終了後、各組G補佐に発表して頂きました。





<ミーティングの発表要旨>

- * 地区のR財団委員会に11月例会時の卓話の講師を依頼している。各委員長、元国際親善奨学生等の方に。
- * 委員長が、自分で卓話をする。啓蒙資料を作成して寄付を推進する。
- * 事業を受けた方に卓話をお願いする。
- * 過去に実行されたプログラムをもっと知ってもらう事で、寄付が増強されるのでは。
- * 財団活動資金の活用システムの理解不足が、各クラブにある。
- * 米山奨学金よりR財団の会計の方が、透明性が低い様に思う。
- * R財団は、理解をし難い。日本流にアレンジできないか。
- * RAに対して、地区補助金プログラムを考えてはどうか。
- * 多くのクラブが、過去に行った事業、現在進行中の活動資金申請プログラムの紹介。他に多くのご意見、発表が有りました。
- * 特に年次寄付については、
 - ・年会費をお願いの時、同時に請求している。
 - ・ニコニコ式で集める。
 - ・ラッキーカードの収益金を、R財団と米山奨学金に振り分けている。
 - ・企業に創立記念時お願いしている。
 - ・ベネファクターを現在推進中で、数年は、年次寄付は、低水準である。
 - ・新入会員に説明依頼している。
 - ・毎月積み立てしている。
 - ・自主性に任せている。
 - ・ポール・ハリス・フェローのエンブレムは、不要ではないか。
 - ・毎年100ドル表現を変更してはどうか。
 - ・会長、R財団委員長になると、寄付をするのが役目と思っている。
 - ・他多数ありました。

最後に横山GEに閉会のご挨拶を頂き、16:10に閉会の点鐘で予定通りに終了致しました。

